

## 会越 滝沢川左俣右沢～貉ヶ森山

長谷川

【日時】2012年7月28日（土）～29日（日）

【メンバー】L木下、中村、長谷川(じ)

7月28日：晴れ

峰越林道で予約したタクシーと合流し林道を進む。林道は所々補修されていて貉ヶ森山の登山道入口の駐車場まで通行可能だった。新潟県川はゲートで封鎖されており通行できず。車をデポしてタクシーに乗り込み、滝沢集落奥の林道終点まで運んでもらう。

タクシーと分かれて登山道を進む。幽の沢との出合から滝沢川方向へ進む。地形図には登山道表示はないが、はっきりとした踏み跡があり河原まで難なく辿り着けた。上部の連続したゴルジュマークとは対照的に穏やかな河原歩きがしばらく続く。もちとい沢を過ぎたあたりからゴルジュの様相になる。気温も高く水に浸かると気持ち良い。

標高500mくらいからスノーブリッジが連続して現れる。一本足で不安定そうな塊だったり、出口の見えない長いトンネル（70mくらい）だったり様々な形をしている。特に最後の70mくらいの通過は屈曲していて出口が見えず入るのも躊躇ったがリーダーが屈曲点まで行きOKサインが出た。一人一人急ぎ足で通過した。



出てくる滝もほとんど登れる滝で非常に楽しい。地形図で表示されている滝マーク（650m付近）は約12m、釜があったため近くまで寄らなかったがスタンスは細かそうに見えた。我々は右岸のスラブ状の斜面を登り草付きをトラバース気味に高巻きした。下降点は木を頼りに滝の落口付近に難なく到着。中村さんのナイスなルートファイディングでした。

綺麗な水流のゴルジュが続き、二俣下で2段14mの滝が出る。ひとめで登れそうにない滝だったので左岸の尾根上を高巻く。取り付き点の岩肌が非常にもろくてリードの木下さんは苦勞していた。

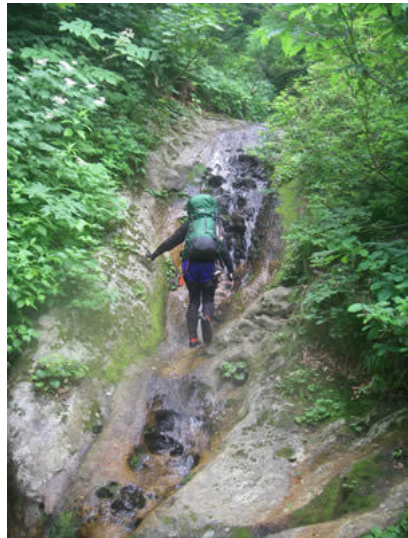
だいたい予定時間に二俣に到着し、高台を少し整地して今夜の幕場を作った。

小さい河原だったが、マキもすぐに集められたし、3人にはちょうど良い広さで快適な焚き火生活を楽しんだ。



7月29日：曇のち晴れ

ここから左俣を遡行する。小さな滝が連続する小さい沢で、昨日までの岩質とは違い茶色の角ばった溪相だ。稜線の藪こぎをなるべく少なくするため山頂方面へと沢を詰める。予定では右沢を右へ右へと行く予定だったが1000m付近の右沢を見過ごした。おそらく小さな流れが涸れ沢だったのでだろう。1050m付近から沢が涸れ始め次第に藪こぎに突入していく。沢の中は涼しげだったが熱の籠った藪は非常に熱く、しかもなかなか強靱。1時間くらい藪を漕いで貉ヶ森山頂へ到着した。山頂は小さく切り開かれているが見通しは悪い。(5分弱、登山道を下ったところに見晴らしの良いところがある。)登山道も踏み跡+赤布がしっかりついていて難なく峰越林道に到着した。(登山道の入口は峠の駐車場から10mくらい新潟県側に歩いた箇所にある。また新潟県側はゲードで封鎖されており通行不可だった。



林道が通行できたおかげで下山歩きもなく、いい気分のまま温泉へと直行した。

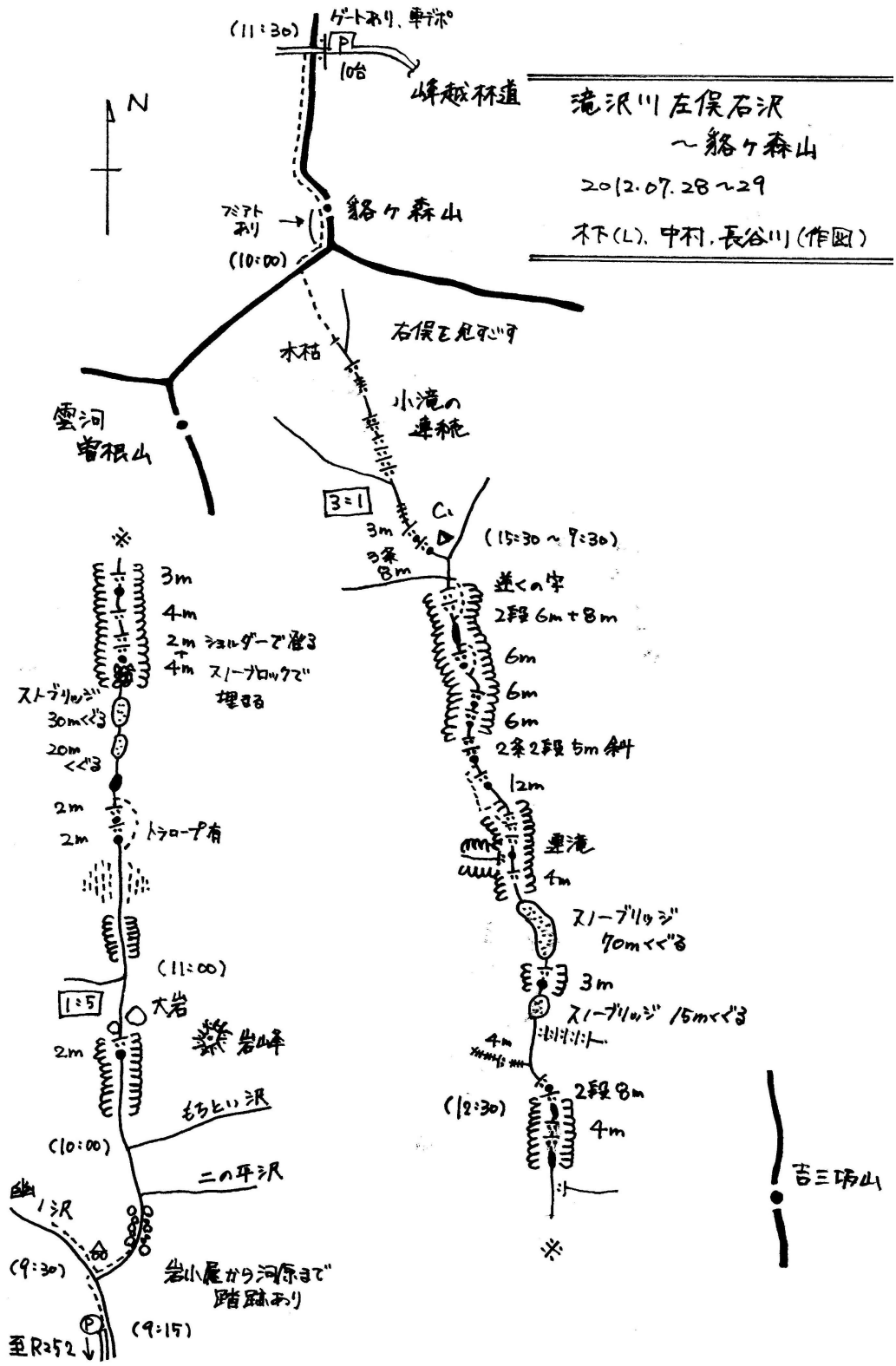
【グレード】3級

【行程】6/2 滝沢集落奥の林道末端(9:15)～もちとい沢出合(10:00)～滝マーク(13:30)

～C1(15:30)

6/3 C1(7:30)～稜線(10:00)～貉ヶ森山(11:00)～峰越林道P(11:30)

【地図】会津横田、貉ヶ森山



滝沢川左俣石沢  
 ~ 絡ヶ森山  
 20(2007.28~29)  
 不下(L), 中村, 長谷川(作図)

(11:30)  
 3m  
 4m  
 2m ストブレイクで滑る  
 4m スローダウンで埋まる  
 ストブレイク  
 30m <<<  
 20m <<<  
 2m  
 2m トロ〜有  
 (11:00)  
 大岩  
 岩山  
 石上川  
 (10:00)  
 二の平沢  
 1沢  
 (9:30)  
 岩小屋から河原まで  
 踏跡あり  
 (9:15)  
 至R252 ↓

(15:30 ~ 9:30)  
 送の字  
 2段 6m + 8m  
 6m  
 6m  
 6m  
 2条 2段 5m 斜  
 12m  
 連続  
 4m  
 スローダウン  
 70m <<<  
 3m  
 スローダウン 15m <<<  
 4m  
 2段 8m  
 4m  
 (9:30)

吉三峠山